

へん

HIROSHIMA



2007(上)



《目次》

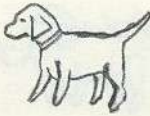
高橋	昭三	野蒜	1
板倉	昭子	烈女秋瑾	2
田中	康夫	旅ゆけば(5) 三次朝霧川の町	3
吉村	良哉	橋のたもと	4
久村	敬夫	遠くなる「昭和」	5
佐藤	蘭花	波音の宿	6
務中	昌己	「包み」雑考	7
足立	柳子	太極拳	8
永田	稔衛	やまわらふ	9
碓井	静照	日本古代史を思う(16)	10
上田	由美子	偏光	11
大谷	育平	贗作	12
天瀬	裕康	「譬」の碑、もう二つ	13
竹内	泰彦	コート・ダジュールの旅	14
由田	千鶴子	防災訓練	15
木村	進匡	モク拾い	16
難波	紘二	飯島宗一先生	17
豊嶋	睦	飛驒古川 心安らく風情のある町	18
平岡	豊恵	北海道研修で学んだ	19
新本	稔	おわら風の盆	20
大谷	美奈子	うどん	21
吉村	馬洗	天地庵	22
川堀	耕平	吾以外皆吾師	23
松本	義之	漢詩と尺八	24
菅原	京子	着こなし	25
吉中	康麿	天童温泉	26



舛井 寛一	ツーリングに挑む	27
井尾 義信	蘇った安井曾太郎「金蒼」さんに会いに	28
新川 貞之	二人の巨匠	29
山口 隆子	襖(みそぎ)	30
夏目 康文	大和撫子がいた	31
佐々木 健	太田川再生への道	32
世木田寛子	カモメの力	33
井上 哲一	日本人の心	34
稲田 公子	山 姥	35
花井 隆爾	毛都安留土	36
土屋 孝子	母のこと(その八) 私に仕事を下さい	37
平塩 清種	霜月、夕暮れの別離	38
小野 文孝	呼子笛	39
中下 穂子	青ぶどう	40
田中 登	舞台芸術の華麗と脆さ悲哀	41
山根 興哉	文人・画人との交遊	42
谷本 直隆	喜寿に思う	43
竹田 朝子	「タイ」のおしゃれ	44
久保田秀男	○表示と×表示	45
高田 薫	心緩ませ	46
高橋 博暢	六回目の年男を迎えて	47
小杉 萬雄	広島市七不思議	48
今田 笹舟	梶(うだつ)	49
長谷川是求	技術者と技術屋	50
上田みどり	環境問題は自分のため	51
城仙泰一郎	迷える子羊を救いたもう「キリスト」様?	52
大和喜久男	「笑い」の研究(5)	53
松村 誠	ヒゲ事始め	54



赤松	和彦	小さな小学校	55
吉波	曾死	こんな俳句	56
森田	昌樹	蜘蛛	57
保手濱	神龍	阿藤大簡先生の旧居を訪う	58
大下	徳也	プロ作家としての執念	59
新田	和雄	インスタレーションⅣ	60
田上	公一郎	梅幻寺月光の庭(その六)	61
小島	哲	県民性あれこれ(その二)	62
片柳	寛	借曲 河	63
土井	田 泰	初稿の弁	64
山本	節子	瑞穂の国	65
石井	康隆	ある選挙戦	66
三上	寿磨子	ハワイの空の青に溶けゆく念仏	67
田中	博	むかしむかしの十輪山	68
伊勢	眞介	我が街 広島(五)	69
熊田	幸子	春の雪	70
正木	嗣鵬	中国渡来人の書(2) 隠元永住	71
亀井	一夫	人間本来無一物	72
小笠	邦久	そば考(その八)	73
千葉	佳子	私の被爆記(一)	74
垣内	稔	今、残すべき遺産・口承Ⅱ口頭伝承その(2)	75
高橋	昭博	クラブやバーで被爆体験を語る	76
袁	葉	プリペイドカードの旅	77
井岡	裕昭	むらの名優	78
梶川	成子	無花果	79
今泉	ただし	トラがくっどう	80
北川	建次	界隈	81
渡辺	玲子	『赤毛のアン』の村、プリンスエドワード島	82



寺尾 邦昭……………	花の駐在さん……………	83
笈 義之……………	花の風景……………	84
廣島ペンクラブ規約……………		85
編集人記……………		87

○平安堂梅坪……………	89	○高陽エリタウン病院……………	89	○西日本日中旅行社……………	90
○介護老人保健施設ゆうゆ……………	90	○長崎病院……………	90	○山陽吟社……………	90
○川堀病院……………	91	○広島経済大学……………	91	○創生俳句会……………	91
○新本クリニック……………	91	○木村神経科内科クリニック……………	92	○梶川病院……………	92
○横田安楽堂……………	92				

■表紙題字／大木 茂	■目次カット／川堀 耕平	■扉／亀井 一夫
------------	--------------	----------

雑

浜崎左髪子 (はまささきさとはつし) 本名・稔明

昭和五十七年(一九八二)制作 25×28 由田千鶴子氏所蔵

明治四十五年(一九一三)ハワイで生まれ、まもなく帰国。昭和十八年安芸高女図画教師。昭和二十年中国戦線、河南省開封で終戦。昭和二十一年山路商、福井芳郎、野村守夫、柿手春三、太田忠、綿谷行四郎らと「フォルム美術協会」を再開。昭和二十四年第一回広島県美術展覧会の審査員。日本画、油絵、揮毫、パッケージ・デザイン、陶器の絵付け多数。極端に太い輪廓線によって色面を分割構成した独特の表現。頑固と反骨、反戦画家。鳥薫、田淵実夫と並ぶ広島三大話芸名人。平成元年(一九八九)十一月二十一日脳血栓により逝去、享年七十七歳。

紙 表